

菊池の城跡

生活の拠点としての城跡

日本遺産の構成文化財の中に、「菊池城跡」があります。平成24年の遺跡の内容を把握する発掘調査で、日常生活に用いる中世の土器などが出土しました。このことから、遺跡の名前は「城」がついていますが、城として機能したのではなく、生活拠点の居館としての利用が確認できま

活用するために、館の周辺の開発に力を入れたようです。「赤星」や「深川」には舟着場があったといわれています。さらに、字図には館に近接した上流箇所に「市場」の地名が残っています。河川を利用した物流拠点である市場が発達したと考えられます。この市場は菊池一族の反映を支える経済活動の中心であった可能性があります。

写真はこの館跡を南側から撮影したものです。一段高くなった所に平坦な面があります。この場所に屋敷が建っていたと考えられます。この平坦面より低くなった箇所が屋敷と想定できる場所を取り囲むように帯状に巡ります。現地の状況から、帯状に巡っているのは濠と推定できます。館としてはこの濠で方形に区画された立派なものであることから、初代菊池則隆の居館といわれています。

館の特徴

この館跡は菊池川の近くに立地していることが特徴です。当時は舟が重要な交通手段で、物資の輸送には舟運が不可欠でした。菊池一族も舟運を有効的に



菊池城跡

菊池夢美術館情報

問い合わせ先 菊池夢美術館 0968(23)1155

「第13回夫婦の手紙・絵手紙展」

期間 ~1月28日(日)

全国から募集した手紙54点と絵手紙112点の作品を全て展示しています。日ごろは思ってもなかなか言えない「いつもありがとう」の感謝の気持ちを思い出すきっかけとなりますので、皆さんのお越しをお待ちしています。

常設展では、菊池一族の歴史や菊池にゆかりある作品を展示しています。菊池一族の資料もあります。ぜひご利用ください。



開館時間 午前9時~午後5時30分

※1月1日(月)~3日(水)は午前11時~午後4時



わいふ一番館だより

問い合わせ先 わいふ一番館 0968(24)6630

【ギャラリー】「菊池の写真愛好家四人展」 廣田喜久男

期間: ~1月28日(日)

四季折々の写真を展示します。ご来館お待ちしております。

【まちかど資料館企画展】「菊池川流域巡回展」

日本遺産 菊池川流域の米作り

~人と大地に刻まれた二千年の記憶~

期間: ~3月31日(土)



開館時間 午前9時~午後5時

※休館日: 月曜日(祝日の場合は翌日)。1月1日(月)~3日(水)は休館します。

画面の向こう側には...

菊池市地域人権教育指導員 米村隆一郎

「六十五の手習い？」と言っぺきか、遅ればせながらスマホデビューを果たしました。毎日がスマホの持つ機能の多様性や利便性に感激と驚きの連続ですが、二歳の孫が見よう見まねでスマホを操り、小学生の孫はゲームに夢中という現象に一抹の不安と怖さを感じるこの頃でもあります。

▼児童ポルノなどの有害情報が氾濫している
▼他人を誹謗中傷する書き込みが、不登校や自殺の要因になっている
▼出会い系サイト等で、子どもが性犯罪被害に遭った
このような報道を見聞きするたびに、不安はさらに募ります。ネットを介した犯罪やトラブルに子どもや高齢者が巻き込まれる事件は、私たちの想像をはるかに超えて悪質化しているようです。また、何か話題性のあるニュースが流れたりすると、全く根拠のない偽りの情報や差別情報がインターネットを通じて全世界を駆け巡る時代になったともいわれています。

ネット社会の危うさが指摘される昨今ですが、私たちはネットと無縁では生きられない時代を生きています。だからこそ、間違った情報に惑わされることなく、あふれる情報の中から真実を見極める力が求められていると言っても過言ではありません。ネットに依存する事なく、現実社会の中でこそ培える人と人とのつながり、豊かな人間関係を築いていくことが大切になってくるのではないのでしょうか。



熊本県人権同和政策課編 「人権研修テキスト」より

ふるさと緑の便り 菊池グリーンツーリズム

問い合わせ先 さくちふるさと水源交流館 0968(27)0102

フットパス

フットパスとは、地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くことを言います。菊池でも平成27年に各地域の団体・個人が連携して活動する「さくちフットパス協議会」を設立。自然を楽しみながら健康づくりができる認定コースが、現在5コースあります。

1月20日に旭志地区で新コースの体験会を実施します。地域の皆さんや参加者の意見を反映しながら本年度中に認定コースになるよう推進していきます。たくさんの方の参加をお待ちしています。フットパス体験会参加者募集 ※要申し込み(先着順) 道の駅旭志コース

受付 午前9時30分 出発 午前10時 参加費 千円(昼食、マップ、保険料込み) 申込期限 1月16日(火) 申込方法 電話 申し込み・問い合わせ先 旭志ふれあいセンター 0968(37)3719

韓国発見シリーズ ⑤ なんとこれは金です

韓国最高の企業の創業者が亡くなる前に投げかけた24の質問

韓国最高の企業三星の創業者、故李秉喆会長が亡くなる1カ月前に提示した24の質問がマスコミに公開された。

李会長は生涯宗教を持たなかったが、経済界の大物が死を前にして投げかけた質問には一人の人間としての李会長の深い苦悩や本来の素朴な疑問が感じられる。その質問内容は、神や死後に関する問題から、金持ちは悪人と同義語か? という現実的なものまで多岐にわたる。



神については、神が万物の創造主であるということをどのように証明できるか。生物学者らは人間も長い進化の過程の産物と言いが神が人間をつくったということはどう違うのか。科学がこれからも果てしなく発達するならば将来、神の存在は否認されるのか。神が人間を愛しているならばなぜ苦痛や死を与えたのか。神はなぜ悪人を作ったのか。死後については、人間が死んでも霊魂は死なず天国や地獄に行くというが本当か。無宗教の人、無神論者、さまざまな宗教の人にも

善良な人が大勢いるが彼らは死んだらどこに行くか。宗教とは何か。なぜ人間に必要か。霊魂とは何か。信仰心がなくてもお金持ちになりたり悪人の中にも富と安楽を手にする人が多いがこれを神はどう見ているか。聖書はどのように作られたのか。聖書が神の言葉だと証明できるか。イエスは我々の罪のための贖罪として亡くなったというが私たちの罪とは何か。なぜ私たちが罪を犯すままにしているのか。 社会問題と関連しては、イタリアは国民の99%がカトリック教徒だが世界の模範国になれず社会の混乱と犯罪が多いのはなぜか。韓国は教会も教会に通う信者も多いが、韓国社会には犯罪と問題がこんなに多いのはなぜか。最後は、地球の終わりは来るのか、だった。経済界の大物が死を前に投げかけた質問は、人生への根本的な疑問や苦悩が含まれている。それは凄まじい速度で変化していく時代の中で生きる我々にも、人生についての意味をもう一度考えさせるものともなる。